



# ただちに開門し、有明海再生を

諫早湾干拓事業の工事中止を求めた「よみがえれ！有明海訴訟」で、8月26日佐賀地裁(榎下義康裁判長)は、工事差し止めの仮処分決定を下しました(国は8月3日に異議申し立て)。弁護団・漁民・市民のたたかいが歴史的勝利をうみ、有明海再生への第一歩となるものです。

日本共産党からは仁比聡平参院議員が九州で、赤嶺政賢衆院議員らが東京で、行動・集会に参加。勝利にわく漁民・市民を激励しました。

「よみがえれ！有明海訴訟」で諫早干拓工事差し止めの仮処分決定後、勝利報告する馬奈木昭雄弁護団長(その左が弁護団の一員である仁比聡平参院議員 = 2004年8月26日佐賀地裁前)

有明海訴訟 歴史的判決  
諫早湾干拓の工事とまる



8月26日夜開かれた「よみがえれ！有明海訴訟 支援東京集会」であいさつする赤嶺政賢衆院議員

国は異議申し立てを撤回せよ

## 漁業被害と干拓事業の因果関係を認める 一日も早く漁業被害の救済を

決定は、ノリ不作等第三者委員会が「事業が有明海全体に影響を及ぼしたことが想定される」とした見解を「極めて信頼に値する」とし、「(事業と有明海の漁業被害は)一定程度の因果関係は認められる」と判断を下しました。

有明海異変による生活苦から自殺者がでる切迫した状況なのに、決定に異議を申し立て、漁民にさらなる苦痛をあたえる国の対応は許せません。因果関係が認められた以上、国は一日も早く漁業被害の救済に取り組むべきです。

## 中長期開門調査しない国の姿勢を批判、事業見直しもうながす 水門開放、事業中止の決断を

さらに、予測を超える地域に深刻な被害が及んでいるとし、「完成した部分も含めて事業全体を再検討し、必要に応じた修正を施すことが肝要」と指摘。

ノリ不作等第三者委員会が事業の影響を検証するため中長期開門調査が役立つとしているにもかかわらずいまだに実施していない」と国を批判しました。

工事中止だけでは有明海は再生しません。事業を中止し、水門開放で海水を入れ、潮の流れを元にもどすべきです。

漁民・市民と心ひとつに

## 諫干事業中止へがんばる日本共産党

### 自民・ゼネコンのゆ着暴く—企業・団体献金もらわぬ党だから

干拓受注企業から自民・民主への多額の献金や、農水省OBが受注企業へ天下っている実態など、政官業のゆ着を調査・追及し、事業がとまらない本質を明らかにしてきたのが日本共産党です。

この4年間でも、小沢和秋前衆院議員や赤嶺政賢衆院議員が10数回の質問や質問主意書で事業推進の根拠をくずしてきました。

### 地元長崎で唯一干拓事業反対をつらぬく

地元長崎では、自民・公明・民主・社民は干拓事業推進を国にせまるなか、事業中止をつらぬいたのが日本共産党です。

民主党本部は工事中止の仮処分決定を歓迎しましたが、同党長崎県連が「地元県連の意向を全く無視」と抗議。国政・地方でも日本共産党こそ事業推進の自民・公明政治と対決できる確かな力です。



事あるごとに現場に足を運び、漁民の相談相手としてがんばる仁比聡平参院議員(写真中央、その右が田村貴昭北九州市議 = 衆院比例予定候補、8月23日福岡県大和町の漁民との懇談)